



地域の魅力が集結した一日 駅前にぎわいフェスタ！

取手ウェルネスプラザで「駅前にぎわいフェスタ」が開催されました。当日は、取手市内にある名高い企業の特設ブースをはじめ、市の魅力を凝縮したイベントが盛りだくさんとなっていて、会場は大いににぎわいました。



「こども版広報とりで」に
取材した内容が掲載されます！

こども特派員募集

☎ 魅力とりで発信課 ☎ 内線1193

市内在学の小学5・6年生、中学1・2年生を対象に、市内の現場を体験取材する「こども特派員」を募集します。こども特派員が取材する内容は、市の担当者が編集し、令和8年2月に発行する「こども版広報とりで」に掲載します。

取材を通じて取手市の魅力を発見していく、「こども特派員」に挑戦してみませんか。

◎申し込み時に、こども特派員がおすすめする市内の好きな場所なども教えてください。詳細は、市ホームページをご確認ください。

市ホームページ



■注意事項

こども特派員に決定した方は、後日保護者の同意書の提出が必要となります(企画会議で保護者同意書を配布します)。



主な活動内容

- ①企画会議へ参加 日時…7月12日(土) 10:00～12:00
会場…議会棟大会議室(市役所敷地内)
◎本物の新聞記者から、取材の仕方を教わります。
- ②現場体験取材 ▶小学生こども特派員
8月以降に市内の企業などを取材します。
▶中学生こども特派員
11月頃に市内のアートスポットなどを取材します。
- ③体験記事(感想文)の提出 体験記事を基に市の担当者が編集します。

募集概要

- 募集対象・定員 ※グループでの申し込みも可。多数は抽選
▶小学生こども特派員…市内在学の5・6年生、3人程度
▶中学生こども特派員…市内在学の1・2年生、3人程度
- 募集期間 6月2日(月)～30日(月) 必着
※7月上旬こども特派員決定予定
- 申込方法 以下のいずれかの方法で
・申し込み用紙を郵送または直接
・右二次元コードから

申し込み
フォーム



この連載では、認知症になっても住みやすい地域を目指して、認知症についてさまざまな情報を発信します！ ☎ 高齢福祉課 ☎ 内線1308

第1回 「私はどこも悪くない」 Aさん家族からの相談

Aさんは76歳女性。健康には自信がありましたが、数年前から、行き慣れたスーパーの名前が出てこないなど、物忘れがだんだんと増えてきました。

心配した家族は専門病院への受診を勧めましたが、自覚がないAさんは「必要ない!」と受診を拒否。そのAさん家族から地域包括支援センターへ相談がありました。Aさんの状況を伺うと、Aさんが通い慣れた病院が認知症診療医療機関の一つだと分かり、まずはその病院へ「健康チェックに行こう」と、受診を勧めることになりました。その結果、時間はかかったものの、家族・地域包括支援センターの勧めで無事に受診することができました。

「取手市認知症ガイドブック」をご活用ください

物忘れの自覚がないのは、認知症の症状の一つです。ガイドブックでは、認知症の知識、進行に応じた対応方法やサービスなどを掲載しています。

市ホームページ



高齢者の相談窓口 地域包括支援センターへご相談ください

地域包括支援センターは、主任介護支援専門員・保健師・社会福祉士などの専門職が、認知症や介護、健康の相談・支援を行います。高齢者の権利を守る支援、住みやすい地域づくりを進めています。お気軽にご相談ください！※お住まいの住所で担当が分かれています。詳細は、市ホームページをご確認ください。

市ホームページ



認知症イベント情報

- 今日は落語で笑おうか!!
日時 8月12日(火) 13:30～14:30
会場 福祉交流センター 多目的ホール(市役所敷地内)
内容 ゲスト：筑波大学落語研究会
申込 電話(地域包括支援センターさらの杜 ☎ 70-2801)
締切 8月5日(火)
- 認知症サポーター養成講座
日時 8月28日(木) 10:00～12:00
会場 新取手自治会館
申込 電話(地域包括支援センターさらの杜 ☎ 70-2801)
締切 8月22日(金)